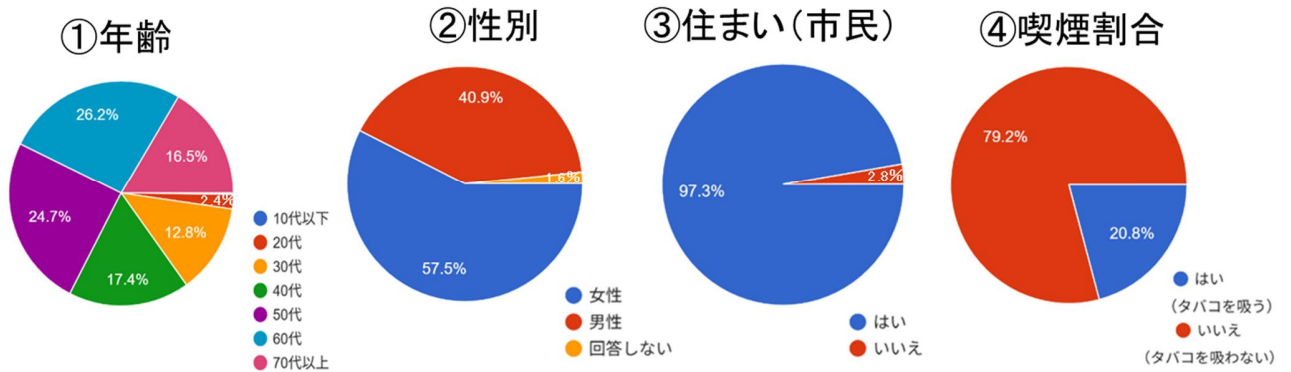


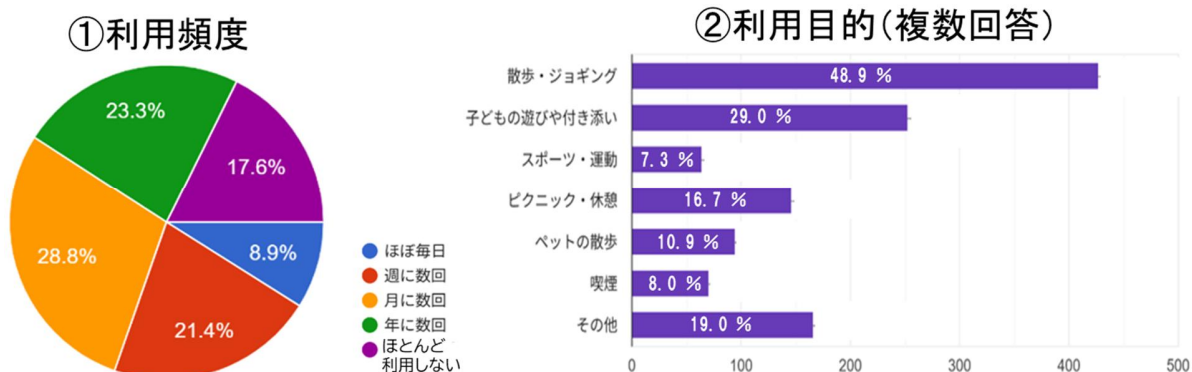
公園における喫煙に関するアンケート調査の集計

(1) 概要及び回答者属性



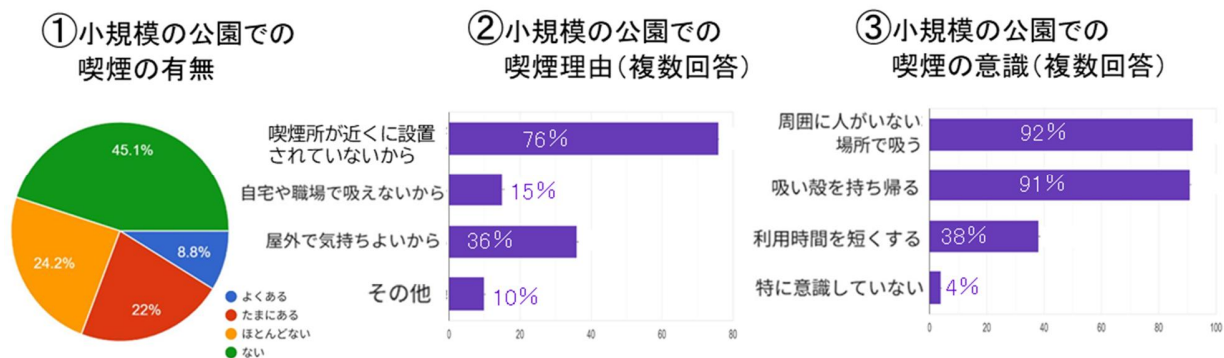
- ・ **実施期間**：令和7年12月2日（火）～12月22日（月）
- ・ **収集方法**：市公式LINE、X（エックス）、市ホームページにより周知を行い、Google アンケートのオンライン回答により収集しました。
- ・ **回答者数**：872人（喫煙者：182人、非喫煙者：690人）
- ・ **回答者の属性**：
 - ・ **年齢層**：10～20代は少数であるが、30～70代までは概ね等分布。
 - ・ **性別**：男女割合ほぼ同率。
 - ・ **住まい**：大多数（97.3%）が横須賀市民。
 - ・ **喫煙割合**：回答者の20.8%（令和6年3月発表の「健康増進プラン」における本市喫煙率15.6%）

(2) 公園の利用状況と喫煙ニーズ



- **利用頻度**：月に数回以上利用する方が約60%を占め、現状を把握できる回答を得られました。
- **利用目的**：多くは「子どもの遊び場」と「自分の健康維持」でした。喫煙目的の利用は全回答の8%ですが、喫煙者のみでは約38%にのぼり、公園における喫煙の実態が確認されました。

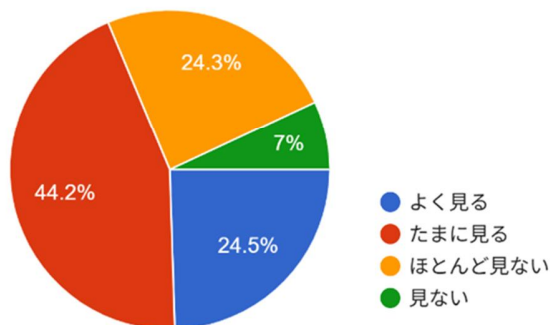
(3) 公園での喫煙者の意識



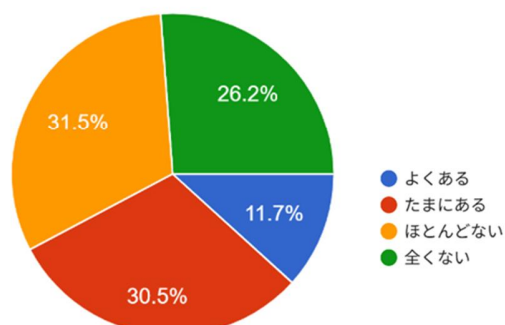
- **喫煙者の回答**：喫煙所のない公園での喫煙が「よくある・たまにある」は約31%。理由は「喫煙所が近くに設置されていないから」が76%と最多です。
- **喫煙者の意識**：喫煙者のほとんどは周囲への配慮や吸い殻の持ち帰りなど、マナーを意識していました。

(4) 公園での非喫煙者の意識

①小規模の公園での喫煙状況



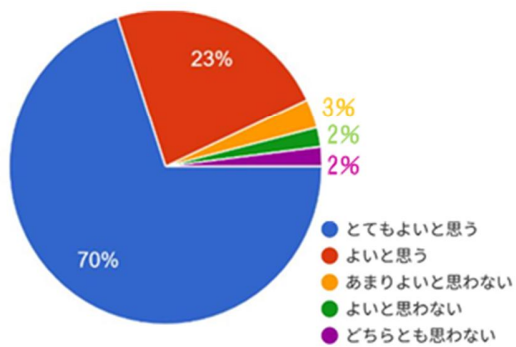
②公園でのトラブルや困った事の有無



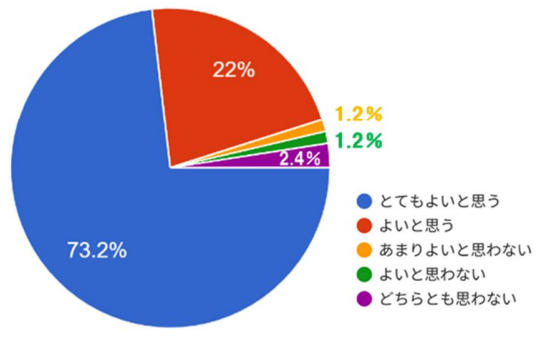
- **非喫煙者の回答**：喫煙シーンを「よく見る・たまに見る」の割合は約69%に達し、受動喫煙防止の必要性が高くなっています。
- **非喫煙者の意識**：トラブルや困ったことが「よくある・たまにある」との回答は約42%でした。
 - 困ったことの内容としては、副流煙による健康被害への不安や、不快感を訴える意見が多数ありました。
 - 特に喘息等の持病がある利用者からの切実な声や、ベンチ・遊具付近での喫煙といったマナーの低さを指摘する意見が目立ちました。
 - また、子どもが砂場でポイ捨てされた吸い殻を触るなどの誤飲リスク、枯れ葉等への引火による火災の危険性を危惧する声も寄せられています。
 - この他、既存の喫煙所から煙が周囲に拡散している実態への指摘や、全面禁煙を望む声がありました。

(5) 分煙化に対する評価（大規模公園）

大規模な公園での
分煙の賛否（喫煙者）



大規模な公園での
分煙の賛否（非喫煙者）



- **分煙化の賛否**：ソレイユの丘等の大規模公園における分煙化については、喫煙者の93%、非喫煙者の95%が「よいと思う」と回答しています。
分煙化の取り組み自体は、双方から高い割合で理解されていました。